地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲

2017
3月
No.34

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより

［院内専門センターのご案内］

呼吸器センター
「あらゆる呼吸器疾患に対して“迅速に”“全方位的な”最新の医療を提供致します。」

NEW ［医療チームのご紹介］

ICT（感染対策チーム）のご紹介
「病院の“自警消防団”として、院内感染の防止や適正治療に努めます」

●立体駐車場がOPENします!!　●この4月より小児脳神経外科が、オープンします！
●スタッフのつぶやき　●ぶらり～っと病院探訪

院内専門センターのご案内

複数の診療科・部門を一つにまとめ、診療機能を統合させた当院の《センター》をご紹介します。

呼吸器センター

あらゆる呼吸器疾患に対して“迅速に”“全方位的な”最新の医療を提供致します

呼吸器センターの特徴

尼崎総合医療センターでは、**呼吸器内科**と**呼吸器外科**が呼吸器センターとして一体化し、あらゆる呼吸器疾患の検査・治療において外科的介入が必要な際には、迅速に協力して実施できる体制が構築されております。
すなわち、当センターでは、呼吸器内科と呼吸器外科が、有機的に関わりあって呼吸器疾患全般にわたり、診断或いは治療に遅滞なくよりよい医療、最新の医療を提供致しております。

呼吸器外科 科長　糸井 和美

- 京都大学医学博士
- 臨床研修指導医養成講習会受講
- 日本胸部外科学会指導医・認定医
- 日本呼吸器外科学会指導医・専門医、評議員資格
- 日本外科学会専門医・指導医
- 日本呼吸器内視鏡学会指導医、気管支鏡専門医

診療部長兼 呼吸器内科 科長　平林 正孝

- 京都大学呼吸器内科臨床教授
- 日本呼吸器学会認定医・指導医
- 日本呼吸器学会近畿支部代議員
- 日本内科学会認定医　・がん治療認定医機構認定医
- 緩和ケアの基本教育のための指導者研修会修了
- 臨床研修指導医養成講習会受講

呼吸器センターの診療内容

呼吸器センターには、咳や痰、息切れといった症状のある方、或いは、胸部X線写真で異常を指摘されて精密検査のために受診される方が多くいらっしゃいます。よくお話をうかがい、分かり易くご説明させて頂くことを心がけて診療にあたっております。

対象とする疾患：

①肺炎をはじめとする呼吸器感染症
②気管支喘息を主としたアレルギー性疾患
③肺気腫を含んだ慢性閉塞性肺疾患
④間質性肺炎に代表されるびまん性肺疾患
⑤肺癌・悪性胸膜中皮腫等の腫瘍性疾患

各種呼吸器疾患の
多施設共同臨床研究にも
多数参加しておりますので
何卒宜敷く御協力下さいます様
お願い申し上げます。

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

医療機関の一層の発展には、医療関係者のみならず患者さんのご参加とご協力が不可欠です。医療者と被医療者とが相互に関わりあってお互いを止揚したところに新たな地平が拡がって参ります。皆さんと共に呼吸器センターの更なる発展向上を希求して参りたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

医療チームのご紹介

新コーナー

ーみんなで支えるチーム医療ー

安心・安全な医療の提供を目指し、院内で多職種協働にて活動する医療チームをご案内します。

ICT（感染対策チーム）のご紹介

病院の“自警消防団”として、院内感染の防止や適正治療に努めます

薬が効きにくい耐性菌が世界中で増えていることが社会問題にもなっています。私たちのチームの仕事は、病院内に持ち込まれる様々な病原体を病院内に拡げないための職員教育、感染症を適正に治療することにより新たな耐性菌を生み出さないこと、さらに新型インフルエンザなどの特殊な感染症の治療にあたる準備を整えることなどにあります。

ICT集合写真

病棟のラウンド風景

検査結果についての情報交換の風景

ICT部会長
（兼呼吸器内科部長）
遠藤 和夫

1 構成メンバー

医師６名（呼吸器内科、総合内科、小児科）、看護師６名（２名の感染管理認定看護師と看護師長）、薬剤師４名、微生物検査技師２名が中心メンバーとなっています。

2 活動内容

院内感染対策には大きく二つの柱があり、守備チームと攻撃チームに例えることができます。「守備」とは病原体を周囲に拡散させないための手洗いやマスク、手袋、ガウンの着用などです。２名の感染管理認定看護師を中心として職員教育にあたっています。いわば“火事を未然に防ぐ夜回り”の役割です。一方、「攻撃」とは感染症の治療を過不足なく行うことで、“火災現場での消火活動”に相当します。総合内科医師の指導のもと薬剤師による抗菌剤の適正使用への取り組みを行っています。

3 メッセージ

感染対策が正しく行われているかのチェックのため、ICTメンバーが病室にお伺いすることもあります。その節にはご理解とご協力をお願いします。
また地域の医療施設からの感染対策上の相談も承っております。

立体駐車場がOPENします!!

◉立体駐車場完成後は、お車の出口が変わります。

運用開始日は、追ってホームページにてご案内します！

本年度整備を続けてきた立体駐車場と駐輪場が、3月末に完成予定です（運用開始日は、追ってホームページにてご案内します）。

運用開始後は、駐車場の収容台数は、約600台と大幅に増大します。また、駐輪場も現在の倍の広さとなります。これまでご不便をお掛けしてきました駐車場・駐輪場の混雑が、かなり緩和されるものと思っております。

なお、立体駐車場運用開始に伴い、**お車の病院からの出口が変更となります。**

お車の出口は、これまでの敷地西側の五合橋線側から**敷地北側**（図参照）**へ変更となります**（入口は、従来どおり五合橋線「総合医療センター前交差点」より）。

また、駐車場専用の事前精算機を1階北玄関付近に設置しますので、お帰りの際にぜひご利用下さい。

【駐車場ご利用料金】

- ◉当日外来受診の方…1回100円
- ◉上記以外…1時間100円
- ◉障害者の方…無料（外来受診）

※障害者手帳の提示が必要

診療科紹介

小児脳神経外科
北川 雅史

この4月より小児脳神経外科が、オープンします！

こどもたちの成長とともに

小児脳神経外科は、こどもたちの脳と脊髄に発生する外科疾患（手術が必要となる病気）の治療を担当しています。小児科（小児腫瘍科、小児神経科などを含む各専門科）、小児救急集中治療科、小児外科、リハビリテーション科、看護部などと連携して治療にあたります。こどもたちが成長して、社会の中で活躍してくれることが大きなよろこびです。

スタッフのつぶやき

栄養のことは、栄養士に聞くのがえいよう～

栄養管理部　管理栄養士　柳田理恵

みなさま、こんにちは！！

私たち管理栄養士・栄養士の仕事は、「給食管理」と「栄養管理」の2つに分けられます。

当センターで扱う食事の種類は150種類に及びますが、「給食管理」では、食形態の変更や食物アレルギーに対する除去・変更など患者さん一人ひとりの病態・病状に合わせた、安全安心な食事の提供を心がけております。

「栄養管理」では、積極的に栄養サポートを行うことにより治療効果を高め、早期回復・早期退院へと繋げることを目指しています。

病棟担当の管理栄養士が、皆さんの病室に訪問させていただき、食事の具体的な内容について相談をうかがいながら、患者さんの状態に合わせた食事提供や栄養管理が図れるように努めています。

お食事等についてご不明な点などありましたら、お気軽にお声をかけください。

ぶらり～っと病院探訪

感染症や微生物情報の発信源

重症感染症の第一発見者となり、院内感染の制御に努めています！

臨床検査部 微生物検査室

近年、多くの病院で薬剤耐性菌の検出が問題になっており、院内感染対策は、当センターでも常日頃意識していることです。今回は、耐性菌の検出や院内感染の原因となりうる微生物の検出を、最初にキャッチしている「微生物検査室」を訪ねました。微生物検査室では、感染症が疑われる患者さんから提出された検査材料（血液・尿・痰など）より病原菌を検出し、医師や他の医療従事者に報告を行っています。

とりおこなう主な検査方法は、以下の5つがあるそうです。

- 塗抹検査（検査材料から標本を作製し、顕微鏡で菌の形や色などを観察し、どのような菌がいるかを推定）
- 培養・同定検査（検査材料を細菌にとって必要な栄養素を含む寒天に塗りひろげ、翌日発育した菌から病原菌を特定する）
- 薬剤感受性検査（どのような抗菌薬が、検出された病原菌に効果があるのか調べる）
- 遺伝子検査（検査材料からPCR法を用いて、目的遺伝子を検出し、培養に時間のかかる菌を迅速に検出することが可能）
- 迅速検査（簡易キットを使用し短時間に検出できる。項目はインフルエンザ、便中ノロウイルス抗原等）

最後に、「院内感染対策として、MRSAなどの耐性菌の検出があれば、医師、看護師、ICT（感染対策チーム）に連絡し感染制御に努めています。また、毎朝、感染症内科医と協働して、血培ラウンドを実施しています。重症感染症の第一発見者となり、担当医へ情報提供を行うことで治療への参画も積極的に行っています。」との力強いコメントをいただきました。

今後もますますのご活躍を期待しています！

編集後記

梅が満開です！日ごとに暖かくなって桜の開花を待ついい季節になりました。どこの職場でもそうでしょうが、春は人の入れ替わりの季節でもあります。当センターでも、引き継ぎ事項の十分な確認と新規入職者へのオリエンテーションの準備を怠らないよう、各部署、春の陽気に流されず、気を引き締めていきたいと思っています。　（Y.Y.）

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社